



荻野地区

本推進委員会のシンボルマークは
荻野地区地旗を使用しています

やまびこ

回 覧

編集・発行

荻野地区地域福祉推進委員会

事務局：荻野地区市民センター

TEL 241-1030

荻野地区地域福祉推進委員会だより

「指導・ご協力 ありがとうございました」

委員長 永里 芳之

3月末をもって、地域福祉推進委員会の1期2年の任務を終えることになりました。コロナ禍で始まりコロナ禍で終わった2ケ年ではありましたが、コロナ禍においても実施可能な事業への切り替え、参加者の人数制限などにより取り組んで参りました。

しかしながら、感染防止対策上、講演会・研修会等中止せざるを得ない行事も多々生じる結果となりました。コロナ禍にあつては、先ず安心・安全を守ることが優先しての対応策といたしました。大勢の皆様方にご理解とご協力を賜り、大過なく節目を迎えられたことに深く感謝の意を申し上げます。

また、75歳以上の高齢者対象の敬老事業は、荻野地区の対象者数399名で前年比209名増となりました。これからは、ご家庭・地域でお

元気に過ごされまますよう、祈念申し上げます。

今年度の各部会の事業報告につきましては、各部会から報告いたしますが、各事業にご協力を賜り誠にありがとうございました。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

総務部会 榎橋 俊之

総務部会の今年度の行事計画とその実施状況は、コロナ感染が今年度も続いたため、活動にいろいろ制約がありました。皆様のご協力・ご支援のおかげで、子育てサロン「ひなたぼっこ」の開催（毎月開催）ひとり暮らし老人登録者への訪問対話（7月に実施）寝たきり老人登録者家族へのお見舞（12月に実施）視察研修会（2月に実施）世代間交流事業（中止）と、世代間交流事業を除いて、各行事を実施することができました。そのなかで、子育てサロン「ひなたぼっこ」は、今年度から鷹尾児童館のみで

の開催となりましたが、リポートされる方、新たに参加される方たちで毎回賑やかに実施することができました。こどもたちの遊び場であるとともに親御さん達の交流の場となっています。来年度はコロナの影響緩和が期待されますので、皆様と一緒に、より明るく元気に活動していければと思います。



子育てサロン「ひなたぼっこ」

ボランティア部会

部長 加藤 修

7月：連絡会を開催 参加者32名ボランティア活動報告ができました。

11月：「認知症の基礎知識」の講演会 講師は「荻野地域包括支援センターの職員」 参加者30名 認知症の方への接し方などを学びました。



講演会「認知症の基礎知識」

2月：「防災対策について」 最近、地震や大雨。大雪による災害発生が多い中、防災に対する意識を高め、いざという時に仲間が助け合うことができるよう知識を習得し、特に、体験学習として起震車による振動体験を実施しました。私たちがボランティア部会は各ボランティアやボランティア団体との横の連携やボランティア活動への参加・実践などを課題として今後取り組んでいきたいと思ひます。

荻野地区地域福祉推進委員会の組織

部員は荻野地区の自治会連合会、民生委員児童委員協議会、しあわせクラブ連合会、青少年健全育成会子ども会育成会、交通安全母の会、食生活推進団体厚味会荻野支部、福祉施設、荻野地域包括支援センター小学校代表、小学校PTA、中学校代表、中学校PTA、公民館（地区館長、地区分館長）により編成されています。

- 用野（神崎） 北部（今録） 丸打（高澤） 田尻（奥脇） 浅後（高瀬） 峰柄沢（松本） 荒井（大谷） 真弓（高瀬） 清源（佐藤） まつかけ台（牛村） 久保（山崎） 泉（摩庭） 松谷（菊池） 東（草柳） 宮郷（若杉） 馬場（花上） 本郷（三栖） 公所（石井） 栢割（角ヶ谷） 子中（難波） 新宿（土屋） 鷹尾1丁目（永里） 鷹尾2丁目（川崎） とびお24街区（内藤） 鷹尾3丁目（石田） 鷹尾3丁目2街区（錦織） 鷹尾4丁目（伊藤） 鷹尾5丁目（藤田） みはる野（岩崎）



厚木には15の地区自治会連絡協議会
荻野地区には29の自治会があります。

サーブス部会

部会長 升田 恒明

上半期に続き、下半期も十分なコロナ対策(検温・消毒・換気)を行いながら、「ミニ茶話会」を7回と「小さなまごころお届け隊」を1回実施できました。

「ミニ茶話会」では、厚木市国保年金課から講師を招き、健康講話『健康寿命を延ばすには、運動・栄養・社会参加が重要』を実施し、アトラクションとして、ウクレレ(市川さん)・ギター(秋月さん)・キーボード(斎藤さん)の演奏により参加者全員で楽しく合唱ができました。

また、「小さなまごころお届け隊」は、65歳以上の一人暮らし登録をされた皆様に、安否確認を兼ねてお手紙とお菓子(どら焼き・揚げ餅・ブッセ)をお配りしました。

以上で令和4年度のサーブス部会の事業は終了しましたが、これら事業の実施にあたり、各

地域の民生委員や自治会会長及び寿会会長の

方々のお力添えがあったからこそと深く感謝申し上げます。

令和5年度も「ミニ茶話会」は70歳以上を対象とし、「小さなまごころお届け隊」は65歳以上の一人暮らしの方々を対象として実施していきたいと思っております。

「ミニ茶話会」 & 「アトラクション」



(荻野公民館)



(子中公民館)



(鳶尾老人憩いの家)

健康部会

部会長 伊藤 重文

コロナ禍の状況がはや4年目に突入する昨今ですが、健康部会では当初の予定通りグラウンドゴルフ・ターゲットバードゴルフ、そして介護予防体操教室を実施することができました。これもひとえに、地域の皆様の福祉活動に対する熱意の賜物だと思えます。

今後とも、健康で心がふれあう地域づくりを目指し、一人ひとりが力を合わせて、住みよい地域をつくるために皆様のご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

カルチャー部会

部会長 大谷 行義

昨年はコロナ禍にもかかわらず、地域の皆様が待ち望んだ福祉活動の一環として、荻野落語会&ミニコンサートを開催しました。

落語は真打ちに昇進された柳家崑三郎さんとミニコンサートでは、マナカマサさんをお迎えして行い、それぞれ熱意を込めた落語と歌を披露して頂き、会場の皆様も楽しく過ごされたと思います。

来年度も荻野落語会とコンサートを企画し、多くの皆様に喜んでいただくように収容人数や公演時間を考えていきたいと思えます。



荻野落語会&ミニコンサート (前号より再掲載)

広報部会 (編集後記)

部会長 三栖 寛美

「これをやって、なんぼもらえるの?」と背後から高齢者らしき人に突然尋ねられた。私は小学校の見守り隊をしている。登校中の児童生徒が事故無く横断できるためのお手伝いをしている。

「ボランティアです。」と答えると、そのまま横断歩道を渡って行ってしまった。久しぶりに「ボランティア」といふ言葉を口に

した。私とこの言葉との出会いは、高校生の時。友人に誘われて「JRC活動」をしてからだ。放課後、福祉活動の学習をしたり、駅前立ち募金活動の手伝いをしたり、卒業するまで活動は続いた。

JRCとは「青少年赤十字」の略称だ。今思えば学生の頃、よい勉強をしたと思う。今でも、何かをしたときに、「ありがとう」「ご苦労様」「助かりました」……の返事が返ってくる、気持ち豊かになる。

私は「六十代では地域の役を…」という考えで自治会・神社・お寺などいろいろさせていた。今では七十歳を超えても、3つの役があり、東奔西走している。一日中好きな畑仕事ができる日はいつ来るのだろうかと思う毎日である。

皆様の「健勝をお祈りし、編集後記とさせていただきます。